



令和3年度 11月号 令和3年11月1日

上原だより

渋谷区立上原小学校
校長 河口 尚志

<https://shibuya.schoolweb.ne.jp/ueharae>

祝！上原小学校創立100周年

校長 河口 尚志



11月に入りました。

いよいよ、今月の20日（土）に本校は創立100周年の記念式典を迎えます。100年に一度の経験を地域の方々と共に味わうことができるとても貴重な機会です。コロナの状況を考え、渋谷区として来賓の数を制限して行いますが、代表として出席する6年生とともに盛大にお祝いをしたいと思えます。

ここで本校の歴史を少しだけ紐解いてみます。

本校は、大正11年（1921年）4月1日に東京府豊玉郡代々幡町上原尋常小学校として開校しました。当時は児童数が395名でのスタートでした。そして今、11月1日現在の児童数はなんと396名！です。
☆学校創設に向けて～大正9年ごろの代々木上原は、人家も100戸ほどで、ウサギが飛び出したり、キジが鳴いたりするさびしいところでした。近くに学校がなく、子供たちは遠くの学校まで通いました。履物も、多くは草履や下駄でした。雪の日は足が濡れ、手はかじかみ、泣きながら通ったそうです。そこで町の人たちが話し合い、ある人が「私の土地を使ってください」と申し出られ、松林の山を切り開き、地ならし、石垣積みなど、大変な苦勞をし、この代々木上原の地によりやく学校ができあがったのです。

☆校章の由来～本校の校章は樅（もみ）の木がモチーフになっています。以前は、正面玄関の塀に沿って数十本生い茂っていたようです。樅の木の枝や針のような葉は、常に大空に向かって伸びています。子供たちに、大空に夢を抱いて伸びてほしいとの願いを込めて校章に使用されました。

様々な歴史や多くの人々の思いとともに、上原小学校は100年を歩んできたのです。

この100年に至るまでに、関東大震災による校舎一部の被害、新敷地への屋根瓦運搬作業、東京大空襲など、多くの苦勞と困難がありました。その度ごとに、地域の方々にご尽力いただき、ここまで本校の歴史と伝統が維持できたのです。改めて感謝の念に堪えません。

式典当日に向けて、子供たちは様々な準備や練習に励んでいます。記念誌作成、環境整備、式典でのアトラクション等々、無事本番を迎えられますよう、進めているところです。あわせて、11月4日（木）には100周年記念集會が行われます。代表委員会が中心となり、準備を進め、全校で学校の100歳をお祝いします。

☆PSSの方々に改めて感謝！

PSS：PTA SUPPORT STAFF

PTAのボランティアスタッフのおかげでスムーズに活動ができています。遠足PSSの安全管理、裁縫PSSの家庭科補助、教室PSSの児童補助、鼓笛練習PSSの器楽指導等々、様々な学校応援団の方々に改めて感謝申し上げます。「子供たちが裁縫を楽しんでいると思ってもらえたら…」「遠足の引率がこんなに大変だったとは…」など、学校の活動への理解と子供たちの活動の充実が図られています。本当にありがとうございます。